

令和5年度 学校教育自己診断結果について

(1) 回収数

【保護者】 364

【生徒】 682

【教員】 30

(2) アンケート項目一覧

1. 保護者アンケート 質問項目

質問1：学校は教育方針をわかりやすく伝えている。

質問2：成績について、学校は家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている。

質問3：学校は将来の進路や職業などについて適切に指導を行っている。

質問4：学校の生徒指導の方針に共感できる。

質問5：保護者からの相談があれば、学校は適切に対応してくれる。

質問6：学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。

質問7：子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。

質問8：テストの得点だけでなく、課題の提出や出席状態なども含めて学習の評価を行っている。

質問9：学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきとしている。

質問10：子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。

質問11：学校行事（ペナント・体育大会・河南フェスティバル・遠足・修学旅行など）は積極的に参加できるよう工夫されている。

質問12：学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育成している。

質問13：地震や台風などの場合の対応については、子ども保護者に行動マニュアルが知らされている。

質問14：学校は、教育情報について提供の努力をしている。

質問15：子どもの個人情報を守っている。

質問16：この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。

質問17：学校での出来事・友達・進路などについて、子どもと話す機会を持っている。

質問18：学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。

質問19：学校のホームページや学校からのメール配信をよく見る。

質問20：子どもの高校生活全般に満足している。

2. 生徒アンケート 質問項目

質問1：学校へ行くのが楽しい。

質問2：学校生活に関して先生の指導は適切である。

質問3：全体的に授業はわかりやすい。

質問4：授業以外の補習や講習が充実している。

質問5：先生の教え方には、さまざまな工夫がなされている。

質問6：授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。

質問7：授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。

質問8：自習室を利用したいと思う。

- 質問 9 : 学校は生徒 1 人に 1 台端末を効果的に活用している。
- 質問 10 : 生徒の興味、関心、適性、進路に応じて選べる選択科目が多い。
- 質問 11 : 先生は、学校生活の問題を見逃さず対応してくれる。
- 質問 12 : 担任の先生以外にも保健室の先生や相談室の先生など、気軽に相談することができる先生がいる。
- 質問 13 : 将来の進路や生き方について考える機会がある。
- 質問 14 : 学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。
- 質問 15 : 学校行事（ペナント、体育大会、河南フェス、遠足、修学旅行など）は楽しく、充実している。
- 質問 16 : 河南高校生は部活動に積極的に参加している。
- 質問 17 : 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。
- 質問 18 : 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。
- 質問 19 : 人権について学ぶ機会がある。
- 質問 20 : 個人情報を守られている。
- 質問 21 : 学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいかを知らせている。
- 質問 22 : 教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。
- 質問 23 : 学校のホームページや学校からのメール配信をよく見る。
- 質問 24 : 総合的には、河南高校の生活に満足している。

3. 教員アンケート 質問項目

- 質問 1 : 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。
- 質問 2 : 成績について、学校は家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている。
- 質問 3 : 進路指導について、将来の進路や職業など適切な指導を行っている。
- 質問 4 : 様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。
- 質問 5 : いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。
- 質問 6 : 保護者からの相談があれば、すぐに応えている。
- 質問 7 : 生徒の学習意欲や学習状況を踏まえて、授業を工夫するなど授業改善を行っている。
- 質問 8 : 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。
- 質問 9 : 学校行事（ペナント・体育大会・河南フェスティバル・遠足・修学旅行など）が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。
- 質問 10 : 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。
- 質問 11 : 災害に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確にされている。
- 質問 12 : 学校は、教育活動に必要な内容について、生徒保護者や地域への周知に努めている。
- 質問 13 : 学校は、生徒の成績、進路等の個人情報を守っている。
- 質問 14 : 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。
- 質問 15 : 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。
- 質問 16 : この学校ではカウンセリングマインドをもって生徒指導を行っている。
- 質問 17 : 生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるようきめ細かい指導を行っている。
- 質問 18 : 情報提供の手段として、学校のホームページや学校メール配信が活用されている。
- 質問 19 : 他の教員の授業を見学できる機会が多い。

質問 20：教育の諸問題や最新情報を把握し、資質向上に努めている。

質問 21：様々な研修を通じて研鑽に取り組んでいる。

(3) 各資料について

昨年比：昨年との増減を矢印で表しています。

↑ 10%以上 増加	↗ 5～10% 増加	↗ 3～5% 増加
↓ 10%以上 減少	↘ 5～10% 減少	↘ 3～5% 減少

(4) 保護者アンケート結果から

肯定的評価が10%以上下がった項目は1つあり、質問13の「地震や台風などの場合の対応については、子ども保護者に行動マニュアルが知らされている。」で、昨年の質問は「地震や台風などの場合の対応について知らされている。」で、「行動マニュアルを知らされている」とより具体的に知らされているかどうかを問われると肯定的な評価が下がったと考えられます。そのほかの質問で5%以上下がったものは質問4の「学校の生徒指導の方針に共感できる。」、質問14の「学校は、教育情報について提供の努力をしている。」、質問19の「学校のホームページや学校からのメール配信をよく見る。」があり、学校の方針と保護者の考え方に少しずれがあると考えられます。このずれを修正することが来年度の課題として考えていく必要があるように思います。

また、「わからない」または「どちらともいえない」という回答欄がないと回答しにくいとの意見が多数あり。来年度の学校教育自己診断での解答欄に「どちらともいえない」を設けたほうが良いと考えます。

(5) 生徒アンケート結果から

肯定的評価が5%以上下がった項目は1項目（全24項目）、質問22の「自習室を利用したいと思う。」であった。3年生と中心に図書室を含めて自習室で受験勉強をしています。1、2年生にとって利用しにくいと感じているのではないかと考えます。3%以上下がった項目は質問23の「学校のホームページや学校からのメール配信をよく見る。」で、10%以上上昇した項目は1項目で、質問9の「学校は生徒1人に1台端末を効果的に活用している。」で、クロームブックの利用になれてきたのかと感じます。5%以上上昇した項目が4項目、3%以上上昇した項目が5項目あり、昨年度より肯定的評価が上昇しています。また、記述には、制服に関する意見が多数あり、制服の変更や女子のリボンの変更などの意見がありました。

(6) 教員アンケート結果から

肯定的評価が10%以上下がった項目は8項目（全21項目）あり、質問1の「学校は教育方針をわかりやすく伝えている。」、質問4の「様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。」、質問10の「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。」、質問11の「災害に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確にされている。」、質問16の「この学校ではカウンセリングマインドをもって生徒指導を行っている。」、質問19の「他の教員の授業を見学できる機会が多い。」、質問20の「教育の諸問題や最新情報を把握し、資質向上に努めている。」、質問21の「様々な研修を通じて研鑽に取り組んでいる。」5%以上下がった項目は4項目、3%以上下がった項目は4項目ありました。教員間や教員から発信する分野での項目が目立つので、来年度の課題として考えていく必要があると考えられます。

(7) 教員・保護者アンケートから

昨年度のアンケート結果でもそうであったが、保護者と教員との間で、「成績について、学校は家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている。」では、保護者での肯定的評価が73%、教員が93%と大きく差があり、保護者は懇談等で学校ともっとつながろうとしているが、改善できていなかったと考えられます。保護者とつながる機会を増やす工夫をしなければならないと考えます。

【全体を通して】

- (1) 保護者からの評価は、学校から保護者への情報提供の部分で低下があった。
- (2) 生徒からの評価は、昨年からはほぼ横ばいであった。
- (3) 教職員からの評価は、昨年に比べて低下した部分が多数あった。
- (4) 授業関連の評価は、昨年からはほぼ横ばいであった。

【まとめ】

(1) 今年度は新型コロナ感染も5類となり、通常の学校生活ができるようになった。学校行事も昨年と同様に予定通り行うことができた。保護者アンケートの「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。」は昨年からはほぼ横ばい、生徒アンケートの「学校へ行くのが楽しい。」は89%と昨年より上昇し、昨年と同様に生徒たちが学校で前向きに頑張っている様子が伝わっていることが見て取れます。また、生徒アンケートについては、多くの項目で肯定的評価が80%以上になるなど、良い結果が得られました。

教職員のアンケートにおいて、多くの項目で低下がみられた。新しカリキュラムになり、評価の方法も大きく変わり、それに対応するために個々の先生方が振り回されて疲弊しているのではないかと考えます。教職員が生き生きと業務を遂行できるように、業務改善をはじめ、雰囲気の良い職場づくりをしていかなければならないと考えます。

(2) 生徒の授業に関する項目（質問3・5）については、肯定的評価が83%。89%と良い結果が得られました。授業力向上PTの活動がさまざまな成果として着実に実を結んだものと考えられます。来年度はさらに、続き授業改善に取り組み、少しでも生徒たちが前向きに授業に取り組めるように改善・工夫を行っていくことが、授業だけではなく学校全体の評価の底上げになっていくと考えます。